

岐阜県

災害ボランティア  
シンポジウム 開催報告

令和2年1月18日(土)、長良川国際会議場 国際会議室にて岐阜県と当協会主催

による「岐阜県災害ボランティアシンポジウム」が開催されました。

冒頭に主催者を代表して、岐阜県健康福祉部の長沼次長と当協会の棚橋常務理事が挨拶し、続いてチームおもやい代表の鈴木隆太氏による



「令和元年8月大雨に伴う佐賀県武雄市の市民ボランティアの取組み」と題する基調講演と「その時、どう動くか」官民連携による支援をめざして」と題するパネルディスカッションが行われました。

基調講演

13:40～14:20

令和元年8月大雨に伴う佐賀県武雄市の市民ボランティアの取組み

チームおもやい 代表 鈴木隆太氏

阪神・淡路大震災以降各地の災害救援に携わってきたが、令和元年8月に地元武雄市が水害に見舞われた際、被災者側の立場となり対応に苦慮。「チームおもやい」を立ち上げ、ボランティアの受け入れ等の支援活動を展開し、当時の課題や今後は総合的な視点でのサポートや取り組みが必要であることを講演いただいた。



愛知県出身。阪神・淡路大震災の際にボランティアを始め、その後「被災地NGO協働センター」において国内外の災害救援に携わる。新潟県中越地震や熊本地震の支援活動を経験。令和元年8月の前線に伴う大雨で地元・佐賀県武雄市が被災したことを契機に「チームおもやい」を立ち上げ、ボランティアの受け入れ等の支援活動を行っている。

パネルディスカッション

14:30～16:00

その時、どう動くか  
官民連携による支援をめざして

〔コーディネーター〕

認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード

代表理事 栗田暢之氏

〔パネリスト〕

チームおもやい 代表

鈴木隆太氏

関市自治会連合会上之保支部

支部長 長尾始氏

岐阜大学流域圏科学研究センター

准教授 小山真紀氏

岐阜県健康福祉部地域福祉課

福祉人材対策監 森祥一氏

コーディネーター 栗田暢之氏の司会進行に沿って、パネリストがそれぞれの立場から発言をされ、地域の中にあるシニアの役割の重要性と、行政・社会福祉協議会・NPO・ボランティア等の連携が重要である等活発な議論が交わされた。

